

【はじめに】

本校では、「安全な農産物の生産」を目標に、令和2年度より、「GLOBAL G. A. P. 認証」の取得を目指しています。昨年度、SGSジャパン（株）の審査により、認証取得しました。そして、今年度は、ICT技術「MOG-GAP システム」を利用して、農場等でタブレット端末を活用し、作業記録や肥料・農薬管理、内部検査を実施しました。そして、更新審査が9月22日に行われ、無事に認証され取得できました。

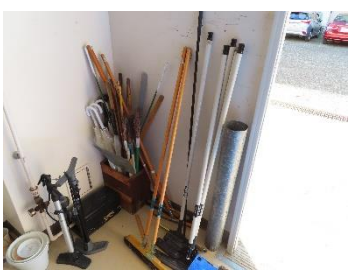
GAP 普及推進機構／GLOBAL G.A.P.協議会ホームページより

G.A.P.（ギャップ）とは、GOOD（適正な）、AGRICULTURAL（農業の）、PRACTICES（実践）のことです。GLOBAL G.A.P.（グローバルギャップ）認証とは、それを証明する国際基準の仕組みをいいます。世界120か国以上に普及し、事実上の国際標準となっています。欧米の大手小売をはじめ、最近では日本の小売でもGLOBAL G.A.P.などの国際認証を取得した生産者からの仕入れを優先しています。GLOBAL G.A.P.認証は、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する優良企業に与えられる世界共通ブランド。取引先の信頼性向上、貴社の企業価値向上に貢献します。

【方法および経過】

1 農場の整理・整頓、環境への配慮

7	平クワ	54
8	剣スコップ	35
9	角スコップ	68
10	レーキ	12
11	ホーク	14
12	一輪車(カゴ付き)	22
13	一輪車(カゴなし)	5
14	スノーダンプ	10+0
15	リヤカー(大)	/
16	リヤカー(アルミ)	/
	草けずり	/



必要なもの、不必要なものを選別し、不必要なものは、廃棄。そして、農具や物品の定位置・定数管理を徹底し、「誰でも、わかりやすく」。農薬などの廃液場所も増設。

2 コンサルティング・内部検査



令和2年のコンサルティングの様子



実習・農場環境確認

内部検査項目（抜粋）

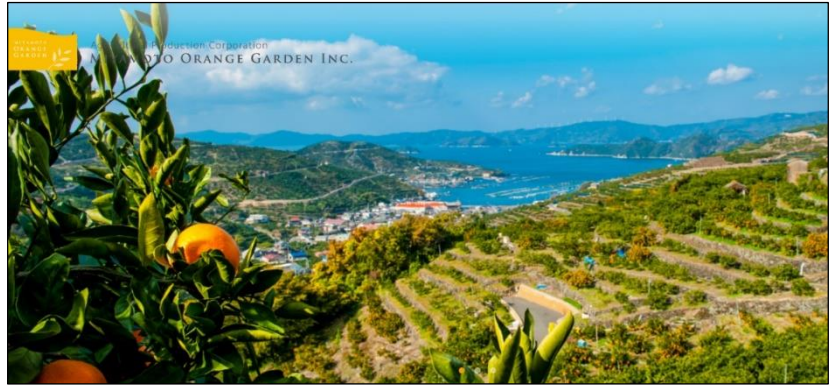
- 米の残留農薬試験結果
- 水道や電気の使用量の記録
- 肥料や農薬の散布記録
- 農場周辺の地図
- など

Major Must が 79項目

Minor Must が104項目 合計 183項目を

内部で検査して、事前に審査会社へ送付

3 ICT技術「MOG-GAP システム」の活用（株）ミヤモトオレンジガーデンのHPより



日付	作業	ステータス	作業表	添付ファイル	備考	衛生管理ルール実施確認
2023-05-12	液	未処理	表示する▶		液肥散布200倍希釈 1育苗箱1枚当たり1L	実施
2023-05-12	液	未処理	表示する▶		田植え（越淡麗）育苗箱36枚定植	実施
2023-05-12	稲	未処理	表示する▶		こがねもち田植え 育苗箱25枚定植 前日夕方、もち...	実施
2023-05-11	稲	未処理	表示する▶		田植え（越淡麗） 朝、1-1ほ場落水 育苗箱1枚当...	実施

作業後に
タブレットを
使用して
入力した
業務日報
の一例

当社が開発したMOG-GAPシステムは、当社がこれまでGAPに取り組んできた失敗や経験などのノウハウが全て含まれています。栽培の作業内容の記録、GAP認証の取得に必要な書類などが全て一元管理出来ることが特徴です。クラウドを活用しているため、スマホやPCによりペーパーレスを実現し、紙による膨大な書類管理が不要になりました。GAP認証取得に関わる準備の時間が激減して、日々の業務の中で自然にGAPに取り組んでいます。



実習後にタブレットでMOG-GAPに入力



タブレットを使用した在庫管理

SGS ジャパン株式会社様より GLOBAL G.A.P.公開審査会



タブレットで審査員と質疑応答

4 GLOBAL G.A.P.認証の取得(更新)



令和5年11月27日に到着した認証状

新潟県立高田農業高等学校

〒943-0836 新潟県上越市東城町1丁目4-41



学校ホームページ



学校 note



平成25年に省略した校名を商標登録



令和5年度GLOBAL G.A.P.認証取得チーム

令和5年産食味スコア

（株）つくば分析センター調べ

タンパク：6.8%

アミロース：15.8%

脂肪酸度：15

スコア：83

食味格付け：S